第79号
PIWU
2019年　3月1日

郵政産業ユニオン TOKYO・NEWS

● 発　　行 ●
郵政産業労働者ユニオン
東京地方本部
発行責任者　　田中　孝史
〒104－0031
中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局 5F

8割以上の人がストレス
19春闘アンケートへの声

私たちは毎年春闘アンケートを行っています。アンケートには苦しい生活を改善するために大幅賃上げを求める切実な声と職場への不満が多く寄せられています。今の賃金では6割の人が苦しいと訴え、職場への不満では8割の人がストレスを感じています。

賃上げを求める声は切実

都内T局に勤務する正社員A君は、「残業が多い月は20万円を超えるけども、普段は20万円いきません。共済の掛け金が高いので手取りはもっと低くなります。神経を使う物が増えて仕事量も多い割に賃金が安いので賃金をあげてほしい。残業しなくても20万円を超えるようにしてほしい」と言っています。

都内S局に勤務する非正規社員B君は、「内務は時給が低い（1時間1010円）から一時金も外務と比べて低い。現在の賃金では食べていくのがやっと。我慢する生活をして食事も一日500円で済ませるようにしている。将来を考えて少ない金額からわずかでも貯蓄しようと思っても出来ない。郵政ユニオンは時給を最低1200円としているので実現してほしい」と言っています。

職場への不満と要望

「要員不足（24．1％）が最も比重が大きく、「低賃金」（16．2％）、「職場の将来不安」（12．7％）が目立って高率です。特に要員不足の解消は即急に改善しなければなりません。毎日欠員状態で業務が行われていることから、今の時期で3時間、4時間超勤、連勤10日などというのは異常な働かせ方です。このままいったら過労死になる、と言っている社員もいます。

ストレスに関してですが、ストレスを、「強く感じる」（34．7％）、「やや感じる」（46．5％）を合わせて8割を超えます。ストレスの原因は様々ありますが、以下のことが考えられます。

○本社の現場の実態をみない体質からくる問題
○過剰な営業ノルマからくる問題
○複雑な業務や手間のかかる物が多くなっていることからくる問題
○業務量に見合った適切な人員が配置されていないことからくる問題
○事故処理、お客さんのクレーム処理への対応からくる問題
等です。

春闘では賃金引き上げと共に、職場の労働環境を改善させていくことも大事なたたかいです。8時間働けば普通に生活できる賃金、誰もが安心して働き続けられる職場環境にしていくことが求められています。

一緒に頑張っていきましょう。

労働相談・組合加入は・・・電話０３－３５３５－５４４７　　piwutokyo@yahoo.co.jp